



# ふるさと上越ネットワークたより

編集・発行 ふるさと上越ネットワーク事務局  
〒101-0064 東京都千代田区神田猿樂町2-1-2  
TEL.03-5244-5138 FAX.03-3294-6106

●本庁担当：上越市自治・市民環境部 共生まちづくり課  
〒943-8601 新潟県上越市木田1-1-3  
TEL.025-526-5111(内線1406) FAX.025-526-6114

ホームページ→ [ふるさと上越](#)



Takada Castle Cherry Blossoms

「たより」No.259 目次	会員数と「ふるさと市場」販売報告 .....	1
	」ネットの活動とお知らせ .....	2
	とれたて上越 .....	3
	・上越の行事予定	
	・雪月花が第一位、上越産コシヒカリは7年連続「特A」、 あおき味噌も最高賞受賞、 前島密翁没後 100 周年記念講演会の報告	
	・和親会、高田の桜 その3	
	上越産品販売のお知らせ .....	7
	鯉橋師匠高座予定、および 」ネットからのお知らせとお願い .....	8

## 会員数と「ふるさと市場」販売報告

(1) 会員は現在601名です。(本年度目標:600名)

(2) 「ふるさと市場」(2月)の販売状況

合計 27 件 ¥77,876 (前年同月 207 件 ¥150,905)

## Jネットの活動とお知らせ

### (1) 東京サロンの報告

令和2年2月13日(木)の東京サロンの開催は、バレンタインデー・イブ。女性陣から健康的なサラダと愛のこもったチョコレートの差し入れがあり、美味しくいただきました。

お酒も、肝太さんからは、分身の「有りがたし」、さらには松本栄規会員からは、「甕覗き」に続く「瞽女唄」が届きました。おいしく、有りがたくいた



だきました。

初のご参加で30歳台半ばの同学年の方がお二人もお越しになり、大いに盛り上がりました。じわじわと参加者が増えてきています。2次会はいつもの「朱鷺」にて、遅れてきた会員も合流、再盛り上がりです。とにかく、Jネット会員は元気です。



### (2) 東京サロンの予定 3月12日(木)は中止、次回は4月9日(木)。

東京サロンにつきまして、3月12日(木)は、新型コロナウイルスの影響で中止いたします。

なお、毎月定例のJネット運営委員会および広報会議も3月は中止となりました。

次回のサロンは、4月9日(木)に開催の予定ですが、状況次第では中止もあります。HPまたは、Jネット事務局にてご確認ください。

東京サロンは、毎月第2木曜日17:30から、新潟県人会館(台東区上野1-15-10 大秀ビル2F、最寄駅は地下鉄千代田線「湯島」徒歩2分、JR山手線「御徒町」徒歩7分)、会費1500円にて開催します。

### (3) 第45回勉強会の報告 —石垣山一夜城と小田原城の見学—

1月25日(土)晴れ、気温10℃、風はほとんど無し。参加者7名は、小田原駅前から土日祝日に限って運行する小田原宿観光回遊バスで一夜城歴史公園へ。

バスを降りると、そこは一部壊された石垣がそのままになっている南曲輪で本丸跡への登り口。石段にはなっているものの、段差も歩き易さも不規則状態でかなり難儀しました。

本丸跡からは、小田原城とその城下町が一望でき、相模湾の彼方には三浦半島や房総半島の山並みも見える。秀吉が見た城は、威容を誇っていたのですが、今は周辺に高いビル群があっかなり見つけにくい。

本丸下の二の丸は広場になっていて、小田原城側から見えるように崩れた石垣が残されている。小田原城天守閣に上って見ても、二の丸石垣には威圧感がありました。

天下統一を果たすための、秀吉最後の戦さ跡に触れた一日でした。



#### (4) 第 45 回勉強会の中止

第 46 回勉強会（2 月 28 日。国立西洋美術館建築ツアー ル・コルビジエの建築見学）も、新型コロナウイルスの影響で中止いたしました。

#### (5) 令和 2 年度 J ネット春の交流会延期のお知らせ

令和 2 年高田城址公園百万人観桜会（令和 2 年 4 月 1 日 - 15 日）に、合わせて、恒例の J ネット春の交流会ならびにふるさと訪問を予定していました。

しかしながら、新型コロナウイルスの影響もあり、上越市とも協議した結果、「当初 4 月に予定していた交流会は延期。新型コロナウイルス感染の終息など条件が整えば秋にでも実施」との結論に至りました。

ご参加や交流を楽しみにされていた会員の皆様には、まことに申し訳ありませんが、上記、事情ご賢察いただき、ご諒解ください。

また、格別の配慮をもって予約ならびに準備にご協力いただきました皆様にはお詫び申し上げますとともに、茲に深く感謝申し上げます。

なお、本件についてのご照会は、事務局・宮里までお願いします。

TEL03-5244-5138、FAX 03-3294-6106、メール k.miyazato@araipt.co.jp。

#### (6) J ネット令和 2 年度年次総会ならびに文化講演会のお知らせ。

年次総会ならびに文化講演会につきましては、3 月 3 日現在では、下記にて開催を予定しています。

令和 2 年度年次総会 5 月 23 日（土）15：00－16：00

文化講演会 16：00－17：00

演題 オリンピック・パラリンピック運動とは？

講師 瀧澤康二氏（国際体操連盟元副会長。J ネット会員）

懇親会 17：15－

会場はいずれも、アルカデア市ヶ谷私学会館です。

申し込みについては、「たより」次号（4 月 25 日号）にてご案内いたします。



### とれたて上越コーナー

#### (1) 上越の行事予定

##### ① 第 95 回高田城址公園百万人観桜会

令和 2 年高田城址公園百万人観桜会は、4 月 1 日 - 15 日に開催されます。

ただし、今回は、ぼんぼりの点灯、高田城三重櫓ライトアップなどにとどめ、パレードやステージなどでの各種イベントは中止。物産展、露店の出店も取り止め、シートを広げての花見宴会には自粛が要請されます。

##### ② 新成人の新たな門出をお祝いする上越市成人式の延期

4 月 4 日（土曜日）の予定でしたが、11 月 21 日（土）に延期となりました。

##### ③ 宇山桜散策へのお誘い

名立区にある標高約 313m の宇山に、ヤマザクラの花が、山肌一面薄紅色に染まります。棚田を背景に、ゆったりと散策してみませんか。

日時：4 月 18 日（土）9:15（宇山に集合）

散策 9:30～12:00 参加費 100 円。定員 30 名。

申し込み・問い合わせ 025-538-2505（久保埜建築）



## (2) 上越の話題

### ①「雪月花」が第一位。

2月15日の日本経済新聞「何でもランキング」は、「ご当地感を楽しめる観光列車」を取り上げ、専門家15人によるランキングを掲載しました。

その中で、えちごトキめき鉄道「雪月花」（上越）は見事、第1位。ちなみに第2位は、「四国まんなか千年ものがたり」（香川）、あの「或る列車」（九州）は第3位でした。

「雪月花」は、越後杉など地元産の材料を使い、広く大きな窓からは日本海大海原、田んぼ、トンネルの中の筒石駅など魅力いっぱい。スイッチバック、直江津駅弁（昨年第1位の駅弁大將軍を獲得）、それに冬の高田駅下車で、風情ある街並みや高田世界館を散策、など評価されている。料理のフレンチ、和食も地元食材を生かし、そこに銘酒が加わる。まさに「KING OF 観光列車。日本のふるさとの車窓。特別な空間に浸れる」（南田裕介氏）である。



### ②上越産コシヒカリは7年連続「特A」

日本穀物検定協会の令和元年産米の審査で、上越産コシヒカリは、7年連続特Aにランクされた。食味試験には155点が出され、うち特Aは54点で昨年より1点少ない。県内の他のコシヒカリは、魚沼産は特A維持、岩船産4年ぶりに特A、佐渡産は特AからAへ、下越産はAからA'となった。

### ③あおき味噌も最高賞受賞

昨年の全国味噌鑑評会で、あおき味噌は最高賞の農林水産大臣賞を受賞、10年で4度目の快挙となった。一途に良いものを作ろうという同社の姿勢が結果に繋がりました。

### ④前島密翁没後100周年記念講演会の報告

2月24日、リージョンプラザ上越にて開催、400名の出席で会場は満員。日本産業インフラの父と称される密翁は、郵便制度や鉄道、海運事業をはじめ、江戸遷都、郵船・日通、報知新聞、東京専門学校（早稲田大学）などの設立、と偉業に枚挙のいとまもないが、講師の作家加来耕三氏は「密翁は、明治維新の理念を具体的な形にした」と述べる。

誰でも、どこでも、いつでも手軽に利用できる郵便制度は、それまでの土農工商の身分を超えて「四民平等を実現」し、不平等条約下の明治にあって、日米郵便条約は「初めての平等条約」であったという。

さらには、密翁は、戊辰戦争時には、命の危険を顧みず、予知を以て、大鳥圭介や榎本武揚に「降参」を直言、それ以前にも將軍慶喜に対しても「大政奉還」を建言したという。郵政博物館や前島密記念館の両館長からも密翁の生き方や資料について話があり、大河ドラマ化への道筋にも触れた。

最後に、新潟日報と共に講演会を主催した「郷土の偉人前島密翁を顕彰する会」の堀井会長のご挨拶があり、大きな拍手が沸き起こり、会場が一つとなった。

帰り際の受付には、加来耕三著「前島密の構想力」を求める長い長い行列ができたが、これは開演前には見られなかったこと。素晴らしい講演会となり、密翁と同じ地に生まれた誇りと喜びを感じた人も多かったようだ。



### (3) なんでも上越

奥深い上越の世界を紹介します。今月は、高田の城下町文化を受け継ぐ和親会について、同会の松川太賀雄理事（Jネット相談役）にご寄稿をお願いしました。

#### 和親会 ——現代に受け継ぐ高田藩榊原家の伝統——

和親会理事 松川太賀雄

##### 榊神社と和親会

「高田の夏は爽涼と・・・榊神社の森たそがれて・・・」と、高田の準市民歌「高田の四季」に歌われている榊神社は、明治9年、高田城大手前の旧藩主別邸＝対面所の跡地に建立された。

康政公の鎧、兜、刀剣を神宝として、初代康政公、3代忠次公、11代政令公、14代政敬公の名君を合祀し、現在に至っている。その敷地内に本部を置くのが和親会、正式名称「公益財団法人旧高田藩和親会」である。



榊神社

和親会の前身は、旧「榊原慈善団」だが、その成立には榊原家の「尚武勸学」の伝統と苦難の歴史がある。

##### 「尚武勸学」を藩是に掲げた榊原家

榊原家では、藩祖康政公以来、代々の藩主は「尚武勸学」を藩是に掲げ、とりわけ学問を重んじてきた。

政令（まさのり）公も学問を好み、篤学の士を儒臣として招いたり、藩士を江戸へ送って砲術や兵術などを学ばせ、激動に備えた。

幕末の14代政敬公の代には、木村容斎、倉石侗窩、小林百咄など優れた学者が現れ、一層学問が盛んになり有為な人材を輩出した。前島密も倉石侗窩の教えに薫化された一人であろう。

こうした伝統は、明治7年、全国で開校トップ7校に入る新潟学校第四分校（現高田高校）の創立に繋がった。「高田教員、〇〇（県内某市）巡查」と言われるように、高田藩士の子弟で教員を志す者が多かったのも、こうした伝統によるものと言われている。

##### 高田藩の苦難

高田藩榊原家は15万石とはいえ、実収はその半分と言われ、藩財政は容易ではなかった。そのため、政令公の時代から稲荷用水の開削、新田開発、造林などの事業を行い、家中にも杉や梅の木などの栽培し、殖産に努めてきた。

維新を迎えると、より厳しい現実に直面する。東征軍長期預かりや会津降伏人預かりなどの他、明治2年の大凶作、3年の政庁全焼、4年の寺町火事などのため益々窮乏、そして換金できない藩札の発行（赤札事件）に至った。それにもまして、藩士の生活は惨めで、新政府の指示より、禄高を9割以上減じられたうえ、一時金も藩借上げで入ってこない。困窮する家臣達を見かねた藩主政敬公は、救済のために城郭の土塁をお堀に入れて蓮根の栽培を始めたほどである。青田川西側の郭外に居を構える藩士の中には、町人から「川外の三貧」と侮られるほど貧窮を極めた者がでる始末であった。

##### 育英・福祉のため、榊原慈善団を創設

維新を迎え、高田城は新政府所有となり取り壊された。しかし明治22年、その跡地が軍事費捻出のため売却に出されると、政敬公が買い上げる。そして、その耕作地からの地代収益を外堀栽培の蓮根の収益金と合わせて、旧藩士子弟の学費補助と困窮者救済事業に充てることした。

その後、高田町は軍隊の誘致を展開し、城地を明治40年に榊原家から6万円で買い上げ、そこに、明治41年に陸軍第13師団が入城した。

旧藩主政敬公は旧家臣と諮って、明治42年1月、城地の売却代を基金に財団法人「榊原慈善団」を創設する。そして、従来にも増して、育英（学資貸与）事業と福祉（生活扶助）事業に力を注いだ。

榊原慈善団は昭和4年に旧高田藩和親会と改称するが、この基金から援助を受けた人数は、昭和22年までに学費貸与者227名、生活困救済450名に上る。この他にも多くの寄付も行ってきた。

### 現代に受け継ぐ高田藩榊原家の遺風

和親会の会員数は現在1200人余り。旧家臣縁者のみならず、榊原家の遺した藩風を理解する人士も数多く入会している。

現在の和親会は、毎年フォーラムを開催するほか、榊神社春秋例大祭への参列、高田藩や榊原家の歴史や文化の維持に加えて、青少年育成のため、高田剣道少年団や上越武道連盟へ補助金も提供する。旧高田藩の墓地管理も事業の一つである。

さらには、会員一人ひとりが、城下町高田の文化や教育に関心を持ち、それらの維持発展に、微力ながらも尽くしていることも記しておきたい。高田藩榊原家の遺風はこの城下町でしっかりと受け継がれている。

(Jネット注 なお、17代政信様には、当会は発足時から顧問としてご支援をいただいております)

### 高田の桜 その3 榊神社の枝垂桜

樹木医 相澤 紀 春日野在住

榊神社には、樹齢100年を優に超える枝垂桜があることをご存知でしょうか。社務所入り口脇に、樹高11m、胸高直径70cm、古木の風格を漂わせています。枝垂桜は野生種のエドヒガンの変種で、花は淡紅白色の小さい花が咲き、長命な品種です。この他にも枝垂れ系の桜には紅枝垂、八重紅枝垂、仙台枝垂等数品種が存在します。Jネット相談役の松川太賀雄様から、枝垂桜が弱っているのを見てほしいとのご依頼があったのは、平成26年のことでした。早速に樹木医仲間と調査し、樹勢回復作業を平成26年春、秋と27年秋に実施しました。その内容は、①主幹部の枯れ下がりを守るための切除②倒伏防止の木製支柱とワイヤー支柱の設置③根系拡大のための駐車場舗装の一部撤去と土壌改良④枯れ枝や懐枝の剪定⑤根元腐朽部の除去を行いました。樹木の衰退は地上部に現れますが、その原因の多くは地下部に起因することから、土壌改良は大切な樹勢回復策の一つです。そのため舗装を一部撤去し、根元周辺に54個の縦穴を掘って実施しました。この効果は数年後には乗用車の屋根に枝垂れた枝が届くほどとなり、枝を切り詰めざるを得ない状態にまで回復し、花も沢山つけてくれるようになりました。神社の皆さんに喜ばれ、これからも樹勢が維持され、花を楽しませてくれると思っています。皆さんも是非一度訪ねてみてください。



## 上越産品販売のお知らせ

- Jネットふるさと市場に「取次販売商品一覧」を同封します。

現行の各社パンフに加えて、取次販売商品一覧（A3版1枚）を同封にてお届けします。

会員は送料無料でお取り寄せができますので、どうぞご利用ください。

### ●上越のこの一品

「タマリーブ」メイド・イン上越認証品

貴重な液状の味噌「味噌たまり」と地中海の上質なE X Vオリーブオイルを配合した世界初のマルチソース。オススメは白身魚のお刺身に掛けてカルパッチョ風に。ワサビとの相性もピッタリ。

ご注文は、同封の「取次販売商品一覧」をご利用ください。

製造販売元：山本味噌醸造場。



タマリーブで白身魚カルパッチョも激ウマ

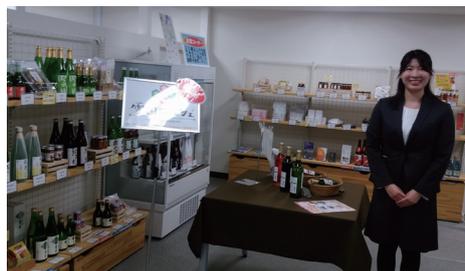
### ●上越産品のギャラリーショップのお知らせ。

交通会館4FのJCV東京情報センターでは、「ギャラリーショップ」を開店しています。上越妙高の産品を販売する会員限定ショップです。（Jネット会員は利用できます）

・営業時間：月～金曜日 午前11時～午後5時（祝日、年末年始等を除く）

「米・水・技」で醸す、よしかわ杜氏の郷は「杜氏の隠れ里」とも呼ばれるほどこれまでに多くの杜氏を輩出してきました。人気の「大辛口」に加え、純米酒「有りがたし」が入荷しました。地元吉川産山田錦をほとんど磨かず仕込んだ純米酒です。しっかりとした旨味を感じられ、酸味がキュッと味を引き締めてくれます。ぜひ一度お試しください。

また、新潟ブランドの地元の苺「越後姫」を使用した、苺の飲む酢やドライ苺の紅茶が再入荷しました。ご自宅でももちろんプレゼントにもぴったりです。



### ●「新潟・上越妙高 うまさ直送！雪国マルシェ」は3月は中止

恒例の上越特産品販売の「雪国マルシェ」は、3月は中止します。4月以降については未定です。

「雪国マルシェ」「ギャラリーショップ」お問い合わせ先 JCV東京情報センター（TEL 03（5218）7730）まで

## 会員ひろば

### 旧高田藩江戸屋敷

溝口 良二

昨秋小春日和の午後、散歩がてら秋葉原のY電器店に出かけた。末広町の交差点で信号待ちの間、千代田区の案内板が目に入った。そこには末広町の謂れと江戸後期の古地図あり、各藩の江戸屋敷や商家などが載っており、高田藩の屋敷を探したところ、上屋敷を見つけた。

上屋敷の跡地は千代田区神田神保町にあり、学士会館があった。勤め先も近くにあり、時々食堂も利用した。現在は千代田区再開発事業の一環で、東京パークタワーという高層のオフィスビルとマンションがある。

古地図に中屋敷が見つけれなかったので調べて見た。中屋敷は湯島天神の通りを挟んだ反対側にある。その地には三菱財閥の創始者の和洋折衷の館がある。戦後は米軍に接收され、その後司法研修所等があり、現在一部が庭園として開放されている。藤沢さん（Jネット理事）から頂いたJネット勉強会の資料によると、企画者の金澤さん（Jネット運営委員）がこのことを知って企画されたのが分かった。

高田生まれで東京育ちですが、意外なところで上越と関わりを見つけて癒しになりました。



## 瀧川鯉橋 師匠 ◎出演予定◎

※お詫び。

前号でお知らせ致しました、池袋演芸場での、お客様を上越関係の方に限定した落語会は、新型コロナウイルスの影響で中止に致しましたこと、お詫び申し上げます。

下記の出演予定につきましても、何らかの変更があるかもしれませんので、主催者か鯉橋までお問合せ下さいませ。

大変な状況ですが、皆様にはどうぞお体お気をつけてお過ごしくださいますよう。

### 瀧川鯉橋 拝

◇3/17(火)銀座イタリー亭、落語会&賞味会。

時 間:午後6時半～。

7時ごろよりお食事。

木戸銭:8800円(フルコース料理&ワイン代込)

出 演:鯉橋(一席)

お問合せ:03-3564-2371(イタリー亭)

◇3/22(日)梶原「いろは亭」昼公演

時 間:午後1時半～4時半ごろ

木戸銭:2300円(チラシ割引有り)

出 演:鯉橋ほか。

会 場:梶原「いろは亭」

都電・梶原、またはJR上中里・尾久より

徒歩約7～10分。上中里3-1-4。線路沿いです

お問合せ:03-6322-1622(いろは亭)

◇3/26(木)お江戸日本橋亭「鯉橋の会」

時 間:午後6時～8時半ごろ。

木戸銭:2000円(前売・予約1500円)

出 演:遊子、鯉橋、南なん-お仲入り-慎太郎、  
ポロン、鯉橋

会 場:お江戸日本橋亭(三越前)

お問合せ:03-5909-3080(芸協)

◇4/11(土)梶原「いろは亭」昼公演。

午後1時半～4時半ごろ。2300円

(チラシ割引有り)

◇4/19(日)昭月落語会(新川崎・鹿嶋田)。

午後3時～5時。2000円。会場「寿司屋の昭月」

4/20(月)やおき寄席(相模大野)。

午後7時～9時。1000円。会場「焼肉八起」

## ●●●●●●●●●● Jネットからのお知らせとお願い ●●●●●●●●●●

### 1. 新型コロナウイルスの影響とご注意

3月に入り、一層、春めいてきましたが、集まりや飲食に延期、中止が続いています。

当会の交流会やサロンで予定を変更しました。今後の情報につきましては、HP または事務局までお問い合わせください。会員の皆さまには十分ご注意いただき、お体ご自愛ください。

### 2. 上越タイムス電子版の閲覧の時期変更。

Jネット HP にて会員様専用で「上越タイムス電子版」の全部もしくは一部をご覧いただく予定でしたが、新型コロナウイルスの影響で同社との打ち合わせが延期となり、開始は、令和2年6月頃になる予定です。

### 3. 記事、寄稿、投稿をお願いします。

「たより」は会員皆さままで作りあげていくものです。ご自身のこと、上越のこと、なんでも結構ですから、原稿をお寄せください。皆さまの貴重なお話は、読み手を元気にします。原稿の体裁などは編集段階でご相談いたしますので、形式にこだわらず、どしどしお寄せください。

◎次号「たより」は4月25日の発行となります。